

# 2016年度自己評価結果公表シート

作成 カトリック聖マリア幼稚園

## 1. 本園の教育目標

キリスト教の愛の精神を基に きよく あかるく 元気な子の育成を目指している

## 2. 保育方針

キリスト教の精神に基づき、隣人に対する愛、祈る心、人間としての正しい生き方の基礎を培う子どもの発達に応じて、生活や遊びの中で、人と関わり、積極的に物事に取り組む意欲、豊かな感性を身につけるように導く

## 3. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ①キリスト教の精神に基づいた教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解を図る  
また、園内外の研修に参加し、教職員の資質の向上をはかる
- ②子どもの実態を的確につかみ、また、自らの保育を客観的に見つめて指導の改善・教育内容の改善に取り組む

## 4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教職員間の共通理解の向上 ・保育や日々の子どもの姿について話し合う ・キリスト教保育の内容を職員間で確認し、日々の活動に取り組む	・職員会だけでなく、朝礼・終礼で子どもの様子について報告し合い、共通理解し早期の問題解決に取り組んだ。 ・月目標等の意識が子どもに伝わりにくい部分もあったので、カリキュラムの充実に、より一層力を入れたい。
教職員の資質の向上 園内外の研修に積極的に参加し、学んだことを園の方針に見合った形で実践する	・主に特別支援や、府が主催する全ての研修に参加した。また、カトリックの研修にも参加し、園の方針に見合った形で実践できた。 ・園内では、各学年の保育の発表や、研究保育を二回行い、資質の向上に取り組んだ。
三学年それぞれの成長段階に応じた活動の充実化と保育内容の共有化	・発達段階に応じて、子どもがすすんで取り組む教材の工夫をした。 ・コーナー保育の見直しを行い、集中力や思考力を育てる教材の工夫を行った。

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・職員間で研修を行うことで、資質の向上に努めることができた。
- ・キリスト教の精神に基づき、隣人に対する愛、祈る心、人間としての正しい生き方の基礎を培い、子どもの発達に応じて、生活や遊びの中で、人と関わり、積極的に物事に取り組む意欲、豊かな感性を身につけるよう保育者が常に意識しながら、子どもに接したのでかなりの成果をあげた。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
◎カリキュラムの見直し ・より子どもたちが成長するよう教職員が一層の資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の教材の充実</li> <li>・研究保育の充実</li> <li>・教師一人一人の保育技術の向上</li> </ul>
◎キリスト教保育の深化・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員がキリスト教に関心をもつ</li> <li>・聖職者の話を聞く</li> </ul>

7. 2016年度 学校関係者評価

1. ハード面ではエントランス含め旧校舎のLED化、2階トイレを幼児用の便器に改修、講堂の幕を新調し必要に応じて設備を整えており大変良い。
- 2.カリキュラムの見直し等で子どもに活力が出てきて、集中力が身についてきている。目に見えて子どもの変容の姿がわかる。
- 3.PTAに進んで協力する人が増えているのが喜ばしい。

(部外評議委員 福本理恵子)

8. 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められております。